



地域包括支援センターです

■問合せ 地域包括支援センター(保健福祉課内) ☎ 47-8009
 社会福祉協議会地域包括支援センター(今庄福祉センター2階) ☎ 45-1170
 // 河野支所(河野保健福祉センター1階) ☎ 48-2260

～顔がつながる、心が通う、お互いさまのまちづくり～

「見守りについて、いろんな立場で語ろうかい(会)」を開催しました!

独居の方、高齢者世帯の方、医療や介護が必要な方等、すべての町民が住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができるように、住民、商工関係、医療・介護、団体、行政機関等の全ての関係者の顔の見える関係づくりを目指して平成30年3月1日に「見守りについて、いろんな立場で語ろうかい(会)」を開催しました。

【参加された方】 計55名

医師・歯科医師・看護師・介護保険サービス提供事業所・ケアマネジャー、区長会・民生委員・老人クラブ・越前警察署・南越消防組合・消防団・社協・郵便局・JA 越前武生・県民生協・北陸近畿クボタ・福井銀行・福井ヤクルト・三和薬品・商工会・森林組合・行政機関等

【内 容】

山本内科医院 山本嘉治医師から「独居の高齢者を支えるために知っておくべきこと」についてのご講演および民生委員児童委員協議会 今村ゆみ子会長、今庄郵便局 京藤和也局長、県民せいきょう丹南きらめき 佐々木麻美総括施設長からの見守りの実践事例についての紹介をいただき、見守りのヒントを共有しました。

その後は、グループに分かれ、普段どんなことを気にかけているか、それぞれの立場で何ができるか等の情報交換を実施し、参加者からは「元気な高齢者が地域を支えよう」「普段からの信頼関係が大切」「普段からの生活状況の把握が見守りや災害時等に役立つ」「顔の見える関係ができた」等の意見が聞かれました。

※「語ろうかい(会)」はご近所・商店・医療・介護等の全ての関係者による地域ケア会議として実施し、地域見守り体制づくり会議と顔の見える町内多職種連携会議を併催しました。



流動創生

東京・六本木にある国際大学グローバル・コミュニケーション・センターにて、2月15日に「ソシエテ・リベルテ『複属化する社会と関係人口～都市と地方の関わりしろ～』」が開催されました。約30名が参加する中、事例発表のご依頼をいただき、流動創生事業についてお話ししました。参加者からは「連携していきたい」「都市と地方を行き来すると言っていることが多い中で、地方同士を繋ぐというのが他に参考になる」といった声がありました。

活動詳細については流動創生 HP および流動創生 Facebook ページをご覧ください。

流動創生 検索 <https://www.facebook.com/ryoudousousei>

■問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013

